

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月23日更新

事務事業名		健康づくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	末永 大樹
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	大山 千尋
	施策の柱	19	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	1636
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番 11575	根拠法令	健康増進法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	1. 行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの定期学習会 (健康づくり推進員) 2. 職員が地域に出向いて健康教育を行なう (出前講座) 3. 健康づくりの必要性について考える機会として実施 (健康づくり講演会) 4. 会の開催 (健康づくり推進協議会)
【業務の流れ】	1. 健康づくり推進員学習会 ①企画 ②推進員への通知 ③準備 ④実施 ⑤他の事業との連携・調整 2. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 3. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価 4. 健康づくり推進協議会 ①委員の選定 (市民代表を含む) ②委員の委嘱 ③協議会の運営 ④会議録の公表 ⑤報償費・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	・健康教育出前講座を実施した。(11月合生文化会館:12名参加) ・健康づくり推進協議会は、書面決議にて開催した。(8月) ・小学生を対象に健康づくり講演会を実施した。(9月14日:52名参加) ・健康づくり推進員と住民の方に更年期をテーマに女性健康セミナーを実施した。(9月15日:14名参加) ・連歩による健康増進に関する研修会を実施した。(11月16日:27名参加) 【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルスの影響により、研修会や協議会の回数が減少したり、中止になったため。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 市民のニーズや健診結果等に基づいたテーマを設定し、健康づくり講演会を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 教室の実施回数	回	必要な消耗品の見直しによる需用費の減
イ: 参加者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		ア: 市民の数(人口)
		イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
市民が健康づくりに関心を持つ。自分の健康を保持増進できるよう行動できる。		ア: %
		イ: 日頃から体を動かすことに取り組んでいる市民の割合 %
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2次基本構想第1期基本計画に基づき設定している。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア	回	2	3	5	3	7	7	7	7	
	イ	人	56	44	75	61	75	75	75	0	
② 対象指標	ア	人	62,925	63,841	64,614	64,614	65,500	66,391	67,270	68,688	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ	%	47.8	48.7	70	0	70	70	70	70	
投資	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	33	4	37	11	33	37	37	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	5,802	113	275	124	232	275	275	275
入費	(A) 事業費計	千円	5,835	117	312	135	265	312	312	312	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	4	2	8	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	385	363	625	430	625	625	625	625	
(B) 人件費計		千円	1,518	1,419	2,490	1,636	2,490	2,490	2,490	2,490	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,353	1,536	2,802	1,771	2,755	2,802	2,802	2,802	

事務事業名	健康づくり事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 引き続き生活習慣改善に取り組めるようにアプローチする。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 感染症拡大状況を鑑みながら、健康づくり推進員活動の維持・活性化に向けて活動方法や内容を検討していく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 健康教育の際は、対象者のニーズや特徴に合わせて内容を検討している。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <small>☞</small> (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和2年度から、こうし健康ステーションは高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業として実施する。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てている。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 健康づくり推進員には市民の一員としての役割を担ってもらっており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、健康教育や講演会の実施方法の検討が今後必要と考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>新型コロナウイルス感染症は5類に移行したもののマスクの着用者は依然多く、再流行を危惧している人が多い。 このため、効率性を重視し回数や人数についても進め方を検討する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類になったことに伴い、マスク着用や運動教室の在り方などを再検討する。</p>																						